

事業者名： 三菱電機株式会社、（共同申請者：株式会社F-Power、鹿角市）

補助事業の名称： B.地域資源活用型プロジェクト「地産地消型需要家PPS実証事業」（交付決定番号:6830001）

全体の事業期間： 平成 26 年 9 月～平成 28 年 3 月

1. 実証事業の目的

地産地消型需要家 PPS（地域電源を地元へ還元する媒体としての役割を第一義とし、必ずしも電気事業で得られる収益の最大化を最優先としない地域 PPS）の持続的成立性について、本実証で確認する。

前年度まで行ってきたフィジビリティスタディ（FS）での試算の確認・精度向上、実際にシステムを構築・運用することで FS では想定しきれなかった技術的課題・運営上の課題などを解決し、事業化に向けて準備を進める。

2. 実証事業の概要

(1) 需要家 PPS と代表 PPS による運営システム（二階層構造）の検討

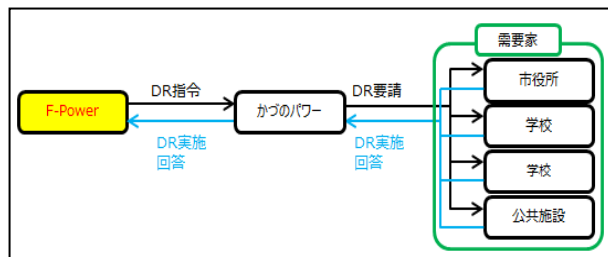
① 需要家 PPS の業務と必要なシステムに関する仕分け（代表 PPS が代行する部分と需要家 PPS の役割分担）

② 需要家 PPS が担う業務のうちクラウド上で行うものを抽出

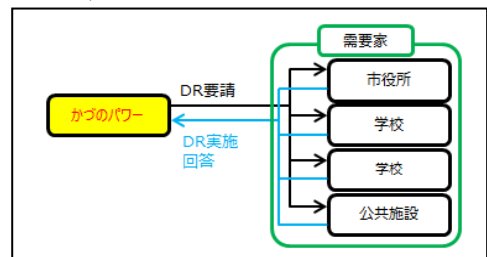
クラウド上で行う需要家 PPS 業務（案）

- ・ 地域の需給の把握
 - ・ 地域の需要家へのデマンドレスポンス
- <2 種類の DR>

代表 PPS からの DR（市場連動型 DR）

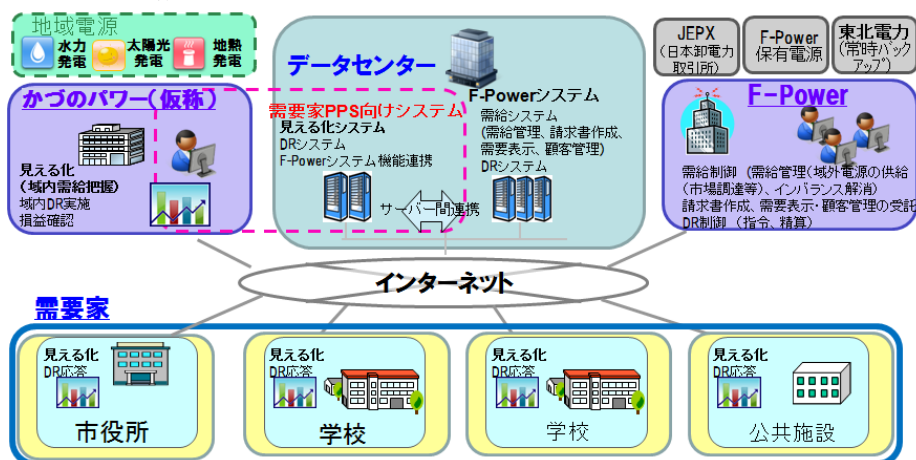


需要家 PPS 独自の DR（地消型 DR）



(2) 需要家 PPS 業務の実証システム構築

<かづのパワー実証構成イメージ>



(3) 需要家 PPS 業務の一部を模擬（実証）

- ① 需要家データ：対象需要家への電力供給は F-Power が担い、実際の 30 分値を用いる
- ② 供給データ：予め設定する実証用「電源ポートフォリオ」を用いる

(4) かづのパワー損益試算

3. 各社分担

役 割	担 当
代表 PPS	F-Power
かづのパワー（仮称）	F-Power 鹿角市
需要家（4 施設）	鹿角市
実証システム設計	鹿角市、F-Power、三菱電機
実証システム構築	三菱電機
プロジェクトマネジメント	三菱電機

4. 事業のスケジュール（事業全体）

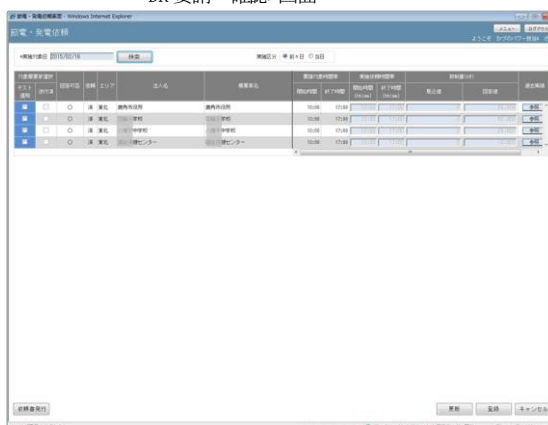
作業アイテム	26年度	27年度
実証システム構築	要件定義・仕様検討 構築	(修正)
実証用システム運用		
分析・評価		

5. 26 年度の成果

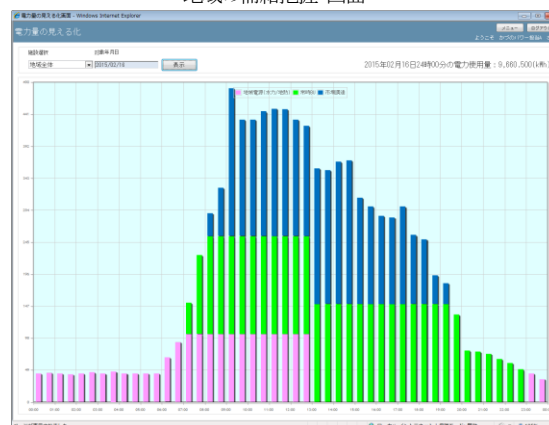
- (1) 需要家PPSと代表PPSによる運営システム（二階層構造）の検討
- (2) 需要家PPS業務の実証システム構築
 - ①実証システム環境(クラウド環境) 構築
 - ②実証システム構築

<画面イメージ>

DR 要請・確認 画面



地域の需給把握 画面



6. 実証事業全体の成果

本事業は2カ年度（26～27年度）計画のため、全体の成果（かづのパワーの持続成立性・事業化の見通し・CO2削減効果など）は平成27年度に報告する。